

# 妙高頸南

妙高支局/〒944-0046  
妙高市上町9-8  
JCVビル1F  
TEL0255-73-7912  
FAX0255-73-8564



お通夜・ご葬儀・ご法要に...  
シティホール

## あらい

妙高市田町1丁目1-10  
TEL.0255-72-7711代

安心の年中無休  
24時間対応

### 朝市で車いすを体験する6年生



## 車いすで街チエック

### 吉木小6年生が体験

妙高市立吉木小(藤木保久校長・児童八十一人)

人の六年生(松岡すみ子教諭・十七人)は本年度、総合学習で社会福祉やボランティアをテーマに取り組んでおり、このほど朝日町の六・十朝市や市役所通りなどで車いすを体験した。いきいきプラザの社会福祉協議会から四台の車いすを借りて市役所、バス発着所や駅のトイレを車いすで利用したり、道路、歩道をチェックした。

車いすの側から見ると道路はこぼれ、段差もある。歩道に車が入り込んで車いすが通れなかつた。朝市では人で混雑して思うように前に進めない場面も。「車いすだから気づく事が出来た。不便さを体験できた」と児童たち。

春以来、六年生は特別養護老人ホームみなかみの里と交流しており、五月の体育祭に車いすのお年寄りの招待を計画したのがきっかけで今回の体験となった。

今後夏休みに訪問したり、二学期は障害のある人を招いて生き方について講演を聞いて福祉やボランティアについての考えを深める事にしていく。

市の花・木・鳥  
候補絞り込む

妙高市

## 新県人会「えちご妙高会」発足

平成の大合併に伴い、古里を離れた県人会組織も再編の動きが出ている。九日、都内で妙高市出身者の新県人親睦会として「えちご妙高会」(会員約千五百人)が発足した。県内で新合併枠に伴う県人会はこれが初めてだといふ。前身は妙高山麓周辺の市町村六市町村で構成した「頸南連合」。うち旧板倉町、清里村、中郷村が抜け、妙高市を構成する旧新井市、妙高高原町、妙高村出身の在京者を中心に発足した。妙高市も連携事業として協力していく。初代会長に就任した西脇与作さん(57)に抱負を聞いた。

高くなったことは賢明な選択です。一体感が持てますしブランド力もある。全国の編入合併で編入する側が改

## 変わる古里に助力

### 新会長・西脇氏が抱負

称したのは多分こたけ。大変な決断として敬意を表します。どんな会を目指しますか。

「旧頸南連合の金子重雄会長(えちご妙高

会名誉会長)の指導力の下、有志各位が積極的に動いてくれました。古里も生きて日々変わっている。妙高市は新しい古里の誕生です。懐かしむだけの古里だけでなく、新しく

酒宴で新幹線延伸も話題になっていました。「時間的距離が短くなりますからね。この沿線地域は行政区分合併とは関係なく、妙高の山から直江津の海ま

変わろうとする古里にかかわっていくことは楽しいことでもあるはず。この会が少しでもそれに寄与できるように活動していきたいですね」

だが一つのパッケージと思う。切り売りは難しい。スキーもどうしても上越線沿線になっってしまう。時間を相殺する魅力が必要。もちろんわれわれもPRな



旧頸南連合会をけん引した金子重雄氏(左)から会を託された西脇氏

ど助力したい。並行在来線は大きな課題。ぜひ蒸気機関車を走らせたい。  
【西脇与作氏】一九七七年、旧新井市小出生まれ。慶應義塾大学文学部教授(哲学専攻)。千葉県市川市在住。